

令和 8 年度 実施設計書

審査 設計者

工事番号
(設計書コード) 38 - F E 2 5 0 - 1 3 - 0 1 - 0 5

建設工事名 令和8年度（防安）市道五十海中央線（五十海一丁目外）舗装長寿命化工事

路線河川名 市道五十海中央線 建設工事箇所 藤枝市 五十海一丁目外 地内

建設工事金額

工 期 令和 9 年 1 月 2 2 日限り 週休2日推進工事補正 （週単位（完全週休2日））

建設工事概要
施工延長 300 m
舗装打換え工 1950 m2
区画線工 1 式

歩掛・単価適用年度 令和 8 年 6 月 基本単価 令和 8 年 6 月 地区コード 2 2 0 地区

起 終 点 指 定 ⇔

位置図

1/10,000



工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 舗装工事					
式	1				
-- 道路土工					
式	1				
--- 掘削工					
式	1				
---- 掘削					
m 3	290				SP 1号表 労補 1号表 数量コードMT
--- 残土処理工					
式	1				
---- 残土運搬・処分 第2種建設発生土					M0001
m 3	290				第 1号表 数量コードMT
-- 舗装打換え工					
式	1				
--- 舗装準備工					
式	1				

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 不陸整正	m ²	1,950			SP 3号表 労補 2号表 数量コードAS
--- アスファルト舗装工	式	1			
---- 上層路盤工	m ²	1,950			第 2号表 労補 3号表 数量コードAS
---- 表層(車道・路肩部)	m ²	1,950			SP 6号表 労補 4号表 数量コードAS
--- 防草対策工	式	1			
---- L型止水テープ貼付け工 厚3mm、高さ50mm、底板幅25mm	m	586			第 3号表 労補 5号表 数量コードLST
-- 区画線工	式	1			
--- 区画線工	式	1			
---- 区画線設置〔熔融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白	m	710			第 4号表 数量コードW15

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 区画線設置〔熔融式手動〕 破線 15cm 塗布厚1.5mm 白	m	70			第 5号表 数量コードH15
---- 区画線設置〔熔融式手動〕 ゼブラ 30cm 塗布厚1.5mm 白	m	12			第 6号表 数量コードW30
---- 区画線設置〔熔融式手動〕 ゼブラ 45cm 塗布厚1.5mm 白	m	170			第 7号表 数量コードW45
---- 区画線設置〔熔融式手動〕 矢印・記号・文字 15cm換算 塗布厚1.5mm 白	m	56			第 8号表 数量コードKW
---- 区画線設置〔熔融式手動〕 矢印・記号・文字 15cm換算 塗布厚1.5mm 黄 鉛・クロムフリー	m	47			第 9号表 数量コードKY
-- 構造物撤去工	式	1			
--- 構造物取壊し工	式	1			
---- 舗装版破碎	m ²	1,950			SP 7号表 労補 6号表 数量コードAH M0004
---- アスファルト殻運搬処分	m ³	98			第 10号表 労補 7号表 数量コードAHG

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 舗装版切断	m	320			SP 9号表 労補 8号表 数量コードAHC M0005
---- アスファルトカッター汚泥運搬・処理	式	1			第 11号表 労補 9号表
-- 仮設工	式	1			
--- 交通管理工	式	1			
---- 交通誘導警備員	式	1			第 13号表 労補 10号表
---- 交通誘導警備員	式	1			第 14号表
直接工事費計					
工種区分 No. 6 舗装工事					
現場環境改善費（率分） （大都市（1）（2）、市街地）	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費 (市街地 (DID補正) (1) - 1)	式	1			
共通仮設費計					
純工事費計					
現場管理費 (市街地 (DID補正) (1) - 1)	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 (金銭的保証を必要とする)	式	1			
工事価格計					
消費税相当額	式	1			
請負工事費					

延長計算表

数量計算名称	コード	起 点 測 点 中間点	終 点 測 点 中間点	数 量(m)
施工延長 測点間距離 20 m	L (04)	0 +0.00	15 +0.00	300.00
合 計				300.00

舗装打換え工			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
舗装	A S 1 (1 1)	$\begin{aligned} &= L * 6.0 \\ &= 300 * 6.0 \\ &= 1,800.000 \end{aligned}$		
舗装（巻き込み部）	A S 2 (1 1)	$\begin{aligned} &= 17.6 + 14.8 + 16.7 + 12.7 + 41.4 + 49.9 \\ &= 153.100 \end{aligned}$		
舗装工	A S (1 1)	$\begin{aligned} &= AS1 + AS2 \\ &= 1800 + 153.1 \\ &= 1,953.100 \end{aligned}$		
L型止水テープ	L S T (0 2)	$\begin{aligned} &= 44.8 + 38.2 + 96.7 + 102.3 + 144.9 + 138.8 + 7.9 + 12.0 \\ &= 585.600 \end{aligned}$		

数量調整表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
機械掘削	MT (06)	= AS * 0.15 = 1953.1 * 0.15 = 292.970	

区画線工			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
外側線	W 1 5 (0 8)	$= (30 * 3) + 40 + 44.8 + 38.2 + 96.7 + 102.3 + 131.1 + 129.8 + 9.8 + 7.8 + 7.9 + 12$ $= 710.400$ $-----$		
センター破線	H 1 5 (0 8)	$= (78.5 + 61.5) / 2$ $= 70.000$ $-----$		
ゼブラ30	W 3 0 (0 8)	$= 3.0 * 4$ $= 12.000$ $-----$		
ゼブラ45	W 4 5 (0 8)	$= (4.0 * 40) + (2.0 * 4)$ $= 168.000$ $-----$		
記号白	K W (0 8)	$= 14.1 * 4$ $= 56.400$ $-----$		
記号黄	K Y (0 8)	$= 23.7 * 2$ $= 47.400$		

取壊し			数 量 調 整 表		数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式			
舗装版破碎	A H (1 1)	= AS			
		= 1953.1			
		= 1,953.100			
					
アスファルト殻	A H G (0 2)	= AH * 0.05			
		= 1953.1 * 0.05			
		= 97.660			
					
As舗装版切断	A H C (0 8)	= L + (6.0 * 4)			
		= 300 + (6.0 * 4)			
		= 324.000			
					
Asカッター汚泥	A H D (0 3)	= AHC * 0.023 * 0.05			
		= 324 * 0.023 * 0.05			
		= 0.370			

MOOO1					
残土運搬・処分 第2種建設発生土					
第 1号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬	m3	100			SP 2号表
残土処分費 処分地：大河原事業(株) (島田市身成)	m3	130			
計					
単価	m3				

MOO O 2		上層路盤工		第 2号表		(労務費補正表参照)
金 円		100 m2 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
上層路盤 (1層目)		m2	100			SP 4号表
上層路盤 (2層目)		m2	100			SP 5号表
計						
単価		m2				

MO003					
L型止水テープ貼付け工 厚3mm、高さ50mm、底板幅25mm					
第 3号表 (労務費補正表参照)					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役					1
	人				
普通作業員					1
	人				
L型止水テープ 厚3mm 高50mm 底板長25mm	m	102			
プライマー (L型止水テープ) 切削断面用	L	3.15			
諸雑費					
	%				
計					
単価	m				

区画線設置〔熔融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白					
第 4号表					
金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 実線 15cm 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15-18% 白 比重2.0	k g	570			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm	k g	25			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	k g	25			2
軽油 パトロール給油	l	47			2
諸雑費	%				

第 4号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

区画線設置〔熔融式手動〕 破線 15cm 塗布厚1.5mm 白					
第 5号表					
金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 破線 15cm 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15-18% 白 比重2.0	k g	570			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm	k g	25			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	k g	25			2
軽油 パトロール給油	l	52			2
諸雑費	%				

第 5号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

区画線設置〔溶融式手動〕 ゼブラ 30cm 塗布厚1.5mm 白 第 6号表					
金	円	1000 m 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工 〔溶融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 ゼブラ 30cm 時間の制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 溶融 ガラスビーズ含有量15-18% 白 比重2.0	kg	1,130			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm	kg	50			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	kg	50			2
軽油 パトロール給油	l	88			2
諸雑費	%				

第 6号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

区画線設置〔熔融式手動〕 ゼブラ 45cm 塗布厚1.5mm 白 第 7号表					
金	円	1000 m 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工 〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 ゼブラ 45cm 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15-18% 白 比重2.0	k g	1,700			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm	k g	75			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	k g	75			2
軽油 パトロール給油	l	106			2
諸雑費	%				

第 7号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

区画線設置〔熔融式手動〕 矢印・記号・文字 15cm換算 塗布厚1.5mm 白					
第 8号表					
金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 矢印・記号・文字 15cm換算 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15-18% 白 比重2.0	k g	570			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm	k g	25			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	k g	25			2
軽油 パトロール給油	l	116			2
諸雑費	%				

第 8号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

区画線設置〔熔融式手動〕 矢印・記号・文字 15cm換算
塗布厚1.5mm 黄 鉛・クロムフリー 第 9号表

金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 矢印・記号・文字 15cm換算 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 鉛・クロムフリー ガラスビーズ含有量15-18% 黄 比重2.0	kg	570			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm	kg	25			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	kg	25			2
軽油 パトロール給油	l	116			2
諸雑費	%				

1, #等:諸経費等対象額

第 9号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
計 (合計金額対象外は除く)					
単価	m				

M O O O 4		アスファルト殻運搬処分				第 10号表	(労務費補正表参照)
金	円	1 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
殻運搬		m3	1			SP 8号表	
処分費 (アスファルト殻) 処分地: セイエン商事(株) (藤枝市稲川)		m3	1				
計							

M O O O 5		アスファルトカッター汚泥運搬・処理				第 11号表	(労務費補正表参照)
金	円	1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
トラック運搬 (D I D区間あり) 運搬距離：27.6km以下		台	1			第 12号表	
処分費 (アスファルトカッター汚泥) 処分地：マーセリサイクル(株) 麻機工場 (静岡市葵区北)		m3	0.4			数量コードAHD	
計							

トラック運搬 (DID区間あり)
運搬距離: 27.6 km以下
第 12号表 (労務費補正表参照)

金 円 1 台 当 り					
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
トラック運搬 2 t 積		時間			
諸 雑 費		式	1		
計					

交通誘導警備員					
第 13号表 (労務費補正表参照)					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B					16日、6人
	人	96			
計					

交通誘導警備員					
第 14号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
交通誘導警備員B					
		人	18		6日、3人
計					

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
掘削	土質＝土砂，施工方法＝オープンカット，押土の有無＝無し，障害の有無＝無し，施工数量＝5，000m ³ 未満 ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土） （労務費補正表参照）	SP 1号表
土砂等運搬	土砂等発生現場＝標準，積込機種・規格＝バックホウ山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ），土質＝土砂（岩塊・玉石混り土含む），DID区間の有無＝有り，運搬距離＝28.5km以下	SP 2号表
不陸整正	補足材料の有無＝無し （労務費補正表参照）	SP 3号表
上層路盤（車道・路肩部）	材料＝瀝青安定処理材 選択，平均幅員＝3.0m超，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 ＊1層当り平均仕上り厚＝75mm，&路盤材規格＝再生瀝青安定処理材（30-0），&瀝青材料規格＝プライムコート PK-3，▽アスファルト夜間割増（必要時選択）＝夜間割増あり （労務費補正表参照）	SP 4号表
上層路盤（車道・路肩部）	材料＝瀝青安定処理材 選択，平均幅員＝3.0m超，瀝青材料種類＝タックコート 選択 ＊1層当り平均仕上り厚＝75mm，&路盤材規格＝再生瀝青安定処理材（30-0），&瀝青材料規格＝タックコート 高性能改質アスファルト乳剤，▽アスファルト夜間割増（必要時選択）＝夜間割増あり （労務費補正表参照）	SP 5号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝3.0m超，材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝タックコート 選択 &アスコン規格＝密粒度アスコン（13） A配合，＊1層当り平均仕上り厚＝50mm，&瀝青材料規格＝タックコート 高性能改質アスファルト乳剤，▽アスファルト夜間割増（必要時選択）＝夜間割増あり （労務費補正表参照）	SP 6号表
舗装版破碎	舗装版種別＝アスファルト舗装版，障害等の有無＝無し，騒音振動対策＝不要，舗装版厚＝15cm以下，積込作業の有無＝有り	SP 7号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
舗装版破碎	(労務費補正表参照)	SP 7号表
殻運搬	殻発生作業＝舗装版破碎，積込工法区分＝機械積込（騒音対策不要，舗装版厚15cm以下），DID区間の有無＝有り，運搬距離（km）＝3.5km以下 (労務費補正表参照)	SP 8号表
舗装版切断	舗装版種別＝アスファルト舗装版，アスファルト舗装版厚＝15cm以下 (労務費補正表参照)	SP 9号表

労 務 費 補 正 表								労補	1 号表
週休 2 日補正率（労務費）									
工種・種別		交替数	1. 0	1. 5	1+0. 25 α	1. 25 α	1. 50 α	総作業	時間制約有無
掘削		交替1	8時間 0分				8時間 0分		
作業時間		開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了
交替1		21:00 - 5:00							
名 称		補正前単価	補正後単価	構成比	名 称		補正前単価	補正後単価	構成比
運転手（特殊）									

労 務 費 補 正 表										労補		2 号表						
週休 2 日補正率（労務費）																		
工種・種別			交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 α		1. 25 α		1. 50 α		総作業		時間制約有無	
不陸整正			交替1				8時間 0分						8時間 0分					
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了						
交替1		21:00-		5:00														
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比					
特殊作業員																		
普通作業員																		
運転手（特殊）																		
土木一般世話役																		

労 務 費 補 正 表										労補		3 号表					
										週休 2 日補正率（労務費）							
工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 α		1. 25 α		1. 50 α		総作業		時間制約有無	
上層路盤工		交替1				8時間 0分						8時間 0分					
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了					
交替1		21:00-		5:00													
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比				
特殊作業員																	
普通作業員																	
運転手（特殊）																	
土木一般世話役																	

勞 務 費 補 正 表										勞補		4 号表						
週休 2 日補正率（勞務費）																		
工種・種別			交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 α		1. 25 α		1. 50 α		總作業		時間制約有無	
表層（車道・路肩部）			交替1				8時間 0分						8時間 0分					
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了						
交替1		21:00 - 5:00																
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比					
特殊作業員																		
普通作業員																		
運転手（特殊）																		
土木一般世話役																		

労 務 費 補 正 表

労補 5号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1. 0	1. 5	1+0. 25 α	1. 25 α	1. 50 α	総作業	時間制約有無			
L型止水テープ貼付け工		交替1		8時間 0分				8時間 0分					
作業時間	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了			
交替1	21:00 - 5:00												
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比
普通作業員													
土木一般世話役													

勞 務 費 補 正 表										勞補		6 号表					
										週休 2 日補正率（勞務費）							
工種・種別		交替数		1. 0		1. 5		1+0. 25 α		1. 25 α		1. 50 α		總作業		時間制約有無	
舗装版破碎		交替1				8時間 0分						8時間 0分					
作業時間		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了		開始 終了					
交替1		21:00 - 5:00															
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称							補正前単価	補正後単価	構成比	
普通作業員																	
運転手（特殊）																	
土木一般世話役																	

労 務 費 補 正 表

労補 7号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数	1.0	1.5	1+0.25 α	1.25 α	1.50 α	総作業	時間制約有無
アスファルト設置運搬処分		交替1		8時間 0分				8時間 0分	
作業時間	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了		
交替1	21:00 - 5:00								
名 称		補正前単価	補正後単価	構成比	名 称		補正前単価	補正後単価	構成比
運転手（一般）									

労 務 費 補 正 表

労補 8号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数		1. 0	1. 5	1+0. 25 α	1. 25 α	1. 50 α	総作業	時間制約有無			
舗装版切断		交替1		8時間 0分				8時間 0分					
作業時間	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了	開始	終了			
交替1	21:00 - 5:00												
名 称				補正前単価	補正後単価	構成比	名 称				補正前単価	補正後単価	構成比
特殊作業員													
普通作業員													
土木一般世話役													

労 務 費 補 正 表								労補	9 号表
週休 2 日補正率 (労務費)									
工種・種別	交替数	1. 0	1. 5	1+0. 25 α	1. 25 α	1. 50 α	総作業	時間制約有無	
アスファルトカッター汚泥運搬・処理	交替1		8時間 0分				8時間 0分		
作業時間	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了		
交替1	21:00 - 5:00								
名 称	補正前単価	補正後単価	構成比	名 称	補正前単価	補正後単価	構成比		
運転手 (一般)									

労 務 費 補 正 表

労補 10号表

週休2日補正率（労務費）

工種・種別		交替数	1.0	1.5	1+0.25α	1.25α	1.50α	総作業	時間制約有無
交通誘導警備員		交替1		8時間 0分				8時間 0分	
作業時間	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了	開始 終了		
交替1	21:00 - 5:00								
名 称		補正前単価	補正後単価	構成比	名 称		補正前単価	補正後単価	構成比
交通誘導警備員B									

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

(受注者の責務)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）第 10 条第 1 項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」（平成 28 年 3 月 11 日藤枝市長決定）第 2 条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第 3 条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。
なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

遠隔臨場の実施に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等により映像及び音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことをいう。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、所定の日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場で確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

（機材等の手配・仕様）

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

交通誘導員の配置に関する特記仕様書（標準）

（交通誘導員の設計計上数量）

第1条 本工事の施工に際しては、設計書に計上した交通誘導員の人員を配置する。なお、配置場所等については、監督員と協議するものとする。

（安全対策）

第2条 受注者は、工事の施工に当たって交通整理等を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

（その他）

第3条 交通誘導員は、原則、警備業法（昭和47年法律第117号一部改正平成16年法律第50号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導員の点呼を取り、交通誘導員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、異常のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導員を適正に配置するものとする。

熱中症対策に資する現場管理費率の補正に関する特記仕様書

(適用)

第1条 本特記仕様書は、受注者が熱中症対策に資する現場管理費率の補正を希望する場合に、受発注者間協議により適用することができる。

(用語の定義)

第2条 この特記仕様書における用語の定義は次のとおりとする。

- (1) 真夏日 日最高気温が30℃以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合とする。
- (2) 工期 工事着手日から工事完了日前の受発注者間で協議した日までの期間をいう。ただし、当該機関に年末年始を含む工事では年末年始休暇分として6日間、7月、8月又は9月を含む工事では夏季休暇分として3日間、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。
- (3) 真夏日率 工事着手日から工事完了日までの期間（以下「工事期間」という）中の真夏日を工期で除した割合をいう。なお、真夏日率の算定は次の算定式によるものとする。

【算定式】真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

※小数点以下第3位を四捨五入し、小数点第2位止めとする。

- (4) 補正值 真夏日率に補正係数を乗じた値をいう。なお、補正值の算定は次の算定式によるものとする。

【算定式】補正值（％）＝真夏日率×補正係数

※補正係数は1.2とする。

※真夏日率及び補正值は、小数点以下第3位を四捨五入して、小数点第2位止めとする。

(気温の計測方法等)

第3条 受注者は工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載するものとする。なお、気温の計測方法は次のとおりとする。

- (1) 計測方法 工事現場から最寄りの気象庁の地域気象観測所の気温、又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。WBGTを用いる場合は、WBGTが25℃以上になる日を真夏日と見なす。なお、施工箇所が点在する工事へ適用する場合は、主工事の施工箇所の最寄りの地域気象観測所の気温を用いる。

ただし、森林工事においては工事現場から最寄りの気象庁の地域気象観測所の気温のみを適用することとする。また、これによりがたい場合は、あらかじめ監督員と協議の上、最寄りの気象庁の地域気象観測所、気象業務法（昭和27年法律第165号）に

基づき気象庁以外の者が行う気温の計測結果又は工事現場を代表する1地点で気象庁の気温計測方法に準拠した方法で得られた気温の計測結果を用いることもできる。

なお、計測資料の取得又は計測に要する費用は受注者の負担とするものとする。

- (2) 気温の補正方法 気温の補正は森林工事のみに適用するものとし、(1)で得られた気温の計測結果(工事現場を代表する1地点で気象庁の気温計測方法に準拠した方法により得られた気温の計測結果を除く。)は、次の算定式により補正を行うものとする。ただし、気象条件又は現場条件によりがたい場合は、監督員と協議の上、補正方法を決定するものとする。

【算定式】補正後の気温(℃)＝気温(℃)－標高差(m)×0.6/100(m)

※補正後の気温は、小数点第2位四捨五入1位止めとする。

ただし、標高差(m)＝工事現場の標高(m)－計測箇所の標高(m)」

(気温計の設置高さがわかる場合は、計測箇所の標高に加算すること)

※標高差の値は、小数点第1位四捨五入整数止めとする。

(計測結果の報告方法)

第4条 計測結果の報告方法は次のとおりとする。

受注者は監督員と事前に協議した提出期日までに真夏日率及び補正值を算出し、真夏日率等算定表(第1号様式)を発注者に提出するものとする。

真夏日率等算定表

工事名：

受注者：

現場代理人：

熱中症対策に資する現場管理費率の補正に関する特記仕様書に基づき、真夏日率等を下記の通り算出したので、提出します。

項目	細目	数量	単位	備考
工期：	工事着手日			
	計測完了日			
	工事中止期間等		日	年末年始6日、夏季休暇3日 工場製作、全面中止期間等
	工期		日	①
真夏日（暑さ指数）：			日	② 算出根拠から自動出力
真夏日率：				=真夏日②÷工期①
補正值：			%	=真夏日率×1.2

※黄色ハッチ部を記入
※マニュアルを参照すること
※自動で出力される値は参考である。

藤枝市週休2日工事（土木工事）特記仕様書

（目的）

第1条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休2日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

（用語の定義）

第2条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（6日間）、夏季休暇（3日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 現場閉所 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。なお、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除く。
- (3) 現場閉所率 対象期間における現場閉所日数の割合（現場閉所日数／対象期間日数）で算定する。現場閉所率が28.5%以上の場合を4週8休以上とする。
- (4) 週休2日 対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- (5) 完全週休2日（土日） 対象期間のすべての週において、現場閉所を土日に指定し、1週間に2日以上現場閉所を行ったと認められる状態をいう。ただし、受発注者間の事前協議により、予めこれに代わる定休日を設定できるものとする。
- (6) 月単位の週休2日 対象期間の全ての月において、週休2日の状態をいう。
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (7) 通期の週休2日 対象期間の現場閉所率が28.5%以上の状態をいう。

（費用の計上）

第3条 週休2日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休2日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

（実施方法）

第4条 週休2日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに現場閉所計画表を監督員に提出し、これに基づき施

工を行う。なお、受注者の責めに帰すことができない理由により実施が困難な場合には、対象期間開始前に受発注者間協議を行うこととする。

- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更の現場閉所計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、現場閉所率について確認を行う。なお、規程の現場閉所を行ったと認められない場合には、静岡県週休2日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上による減額変更契約を行うものとする。

（工期設定の条件）

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 () 日
- (3) 地域の事情 () 日
- (4) 自然条件 () 日
- (5) その他 () 日

地下埋設物調査書

(令和8年度(防安)市道五十海中央線(五十海一丁目外)舗装長寿命化工事)

埋設物	埋設状況			管理者	
	縦方向	横方向	特殊箇所	市	管理側
水道管	Dφ250 Dφ150 Vφ100	Dφ75 Dφ100	給水管有り 消火栓有り	市	上水道課 額 健吾
ガス管	ポリエチレン管 中間圧 φ100 土被り0.8m 鋳鉄管 低圧 φ150 土被り1.2m			市	東海ガス(株) 谷野 博之
大井川広域水道企業団	地下埋設物確認図により無いことを確認した。			市	
大井川土地改良区	地下埋設物確認図により無いことを確認した。			市	
N T T ケーブル	地下埋設物管理者に無いことを確認した。			市	NDS(株)
中部電力ケーブル	地下埋設物管理者に無いことを確認した。			市	中部電力パワーグリッド(株)
下水道管	VUφ250 DP=1.5m			市	下水道課 木村 文哉

